

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポートセンタースクラブ 児童発達支援彩路		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 9日		令和6年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 27日		令和7年 1月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 31日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さまの実態に合わせた活動内容の提供を行っています。	・年間療育計画を参考にしながら、毎月活動内容の打ち合わせを行い、お子さまの実態に応じて活動内容の変更やお子さま一人一人にあった教材教具の検討を行っています。 ・活動実施後も、毎回振り返りを行い、必要に応じて言語聴覚士や公認心理師等の専門職に助言をもらい活動に反映しています。	・引き続き、お子さまの実態に応じた活動内容の提供を意識しながら、お子さま自身が挑戦したいこと等を取り入れ、事業所へ楽しみに通えるよう支援していきます。
2	・お子さまの意向を確認しながら遊びを取り入れる等して選択できる機会を設けています。	・お楽しみ会の中でお子さまに好きな遊びを選択してもらう機会を設けています。お子さまが意思表示しやすいように必要に応じて視覚支援カード等を活用しています。 ・お子さまの気持ちを汲み取りながら、見通しが持ちづらい場合にはスケジュールカードを活用し、好きな遊びを選択して遊べる時間も設けています。	・お楽しみ会以外の活動の中でも、お子さま自身で選択し、役割を持って参加できるような機会を多く設け、お子さまの意思決定を大切にしながら支援していきます。
3	・馬を通して、ホースセラピーを実施し、運動機能の向上や情緒面の安定、人と関わる楽しさを育めるよう支援しています。	・個別レッスンについては、お子さま一人一人に合わせた内容を取り入れています。また、騎乗する以外にも友だちと協力して準備や馬をお世話する機会を設けたり、クリスマス会のイベントに馬と一緒に参加したりする等してお子さまが楽しく過ごせるよう支援しています。	・馬を介して人との関わりを楽しめたり、運動機能の向上を目的としたプログラムを検討しながら、ホースセラピーの内容をさらに充実させていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・環境面については、建物の構造上気温への対応や人数に応じた環境設定等へ配慮が必要です。	・こども園等と比べると療育室が十分な広さではなく、見学の方から見た際に狭く感じるようなことがあります。 ・通気口がトイレや玄関のドアについており、冬場は風は入りやすく寒さを感じるようなことがあります。	・お子さまの人数や活動内容に応じて、2つの療育室を使用したりグループに分けて過ごしたりしていきます。また、見学の方が来られた際には、療育室の活用方法についても説明していきます。 ・風が通る通気口を塞ぐ等してお子さまが寒くないよう配慮しています。今後も環境面へ配慮しながら対応していきます。
2	・プログラム内容が固定化しないように配慮が必要だと感じています。	・活動内容が記載されたおたよりではプログラムが固定化されているように感じられ、活動内容について丁寧な説明が必要です。	・引き続き、お子さまの実態に応じた活動内容の提供に努めます。また、保護者の方へも療育参観の期間等を活用して事業所での活動やお子さまの様子について見学ができることを積極的に働きかけていきます。
3			